

感冒症状の自宅療養中の 家族内感染の予防策について

- ・感冒様症状の患者はできる限り家族との接触を避け、療養する部屋も分ける。
- ・看病が必要な場合は、看病する人を限定する（1人が望ましい）。ただし、高齢者、基礎疾患を有する患者又は妊娠中の女性には看病させない。
- ・患者と家族はタオルを共有せず、別のものを使う。
- ・患者の入浴は最後にする。
- ・療養する部屋から患者が出るときは、マスクをつけ、部屋を出る直前にアルコール手指消毒をする。
- ・患者が触った箇所（ドアノブや手すりなど）をアルコールで浸した紙で拭き取り消毒し、拭き取った紙は再利用せずすぐにゴミ箱に捨てる。
- ・定期的に部屋の窓を開けて換気する。
（目安 1～2 時間に1度、5～10 分間程度）
- ・患者が使った衣類やシーツを洗濯する際は、手袋とマスクをつけて洗濯物を扱い、洗濯後には十分に乾燥させる。
- ・患者が出すゴミはビニール袋等に入れしっかりと口を縛って密閉してから部屋の外に出す。ゴミを扱った直後はしっかり手洗いする。